

# 中小企業景況調査

平成 30 年 7 月

能登鹿北商工会

## 【調査要領】

### 1. 調査対象

(1)対象地区（10 商工会）

能美市、美川、白山、かほく市、森本、羽咋市、富来、能登鹿北、穴水町、能登町

(2)対象企業数 180 企業

(3)回答企業数 179 企業（回答率 99.4%）

### 2. 調査対象期間

平成 30 年 4 月～6 月期を対象とし、調査時点は、平成 30 年 6 月 1 日とした。

今期の状況は、今期（30/4-6）と前期同期（29/4-6）を比べた。

### 3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(2)調査対象企業の抽出は、業種・規模等有意抽出法による。

### 4. 回答企業数内訳

	調査対象		回 答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	40	22.2%	40	22.3%
建設業	20	11.1%	20	11.2%
小売業	51	28.3%	50	27.9%
サービス業	69	38.3%	69	38.5%
合 計	180	100.0%	179	99.4%

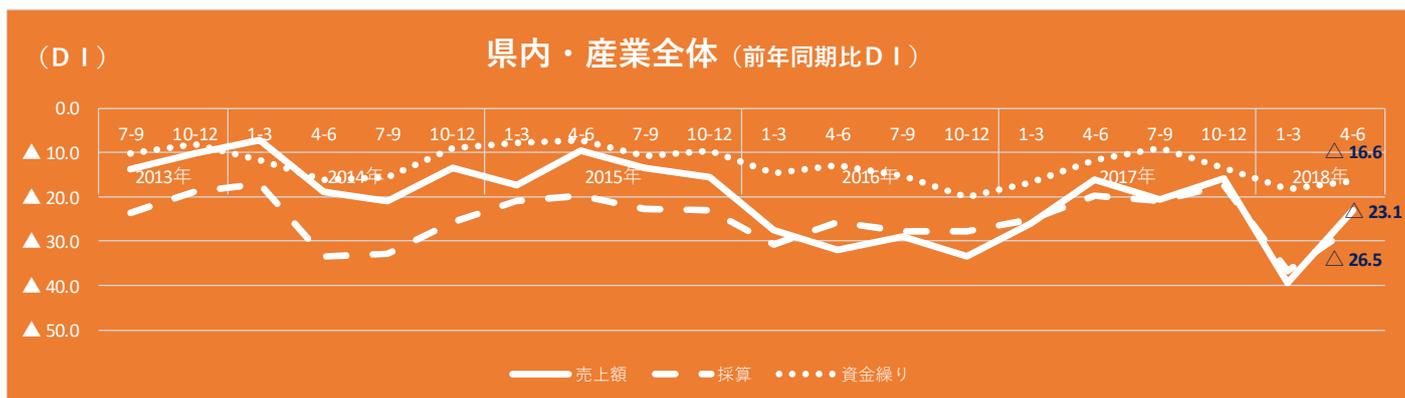
### 5. D I とは

この報告書の中で「D I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気）動向指数の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示す指標です。

## 《産業全体》

### 売上額、採算、資金繰りのすべて改善

平成30年度第1・四半期（平成30年4月～6月期）の産業全体の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△23.1で前期比16.3ポイント、採算D Iは、△26.5で前期比10.1ポイント、資金繰りD Iは、16.6で前期比1.7ポイントの改善となりました。業種別でみると、売上額D Iはすべての業種で改善となりました。

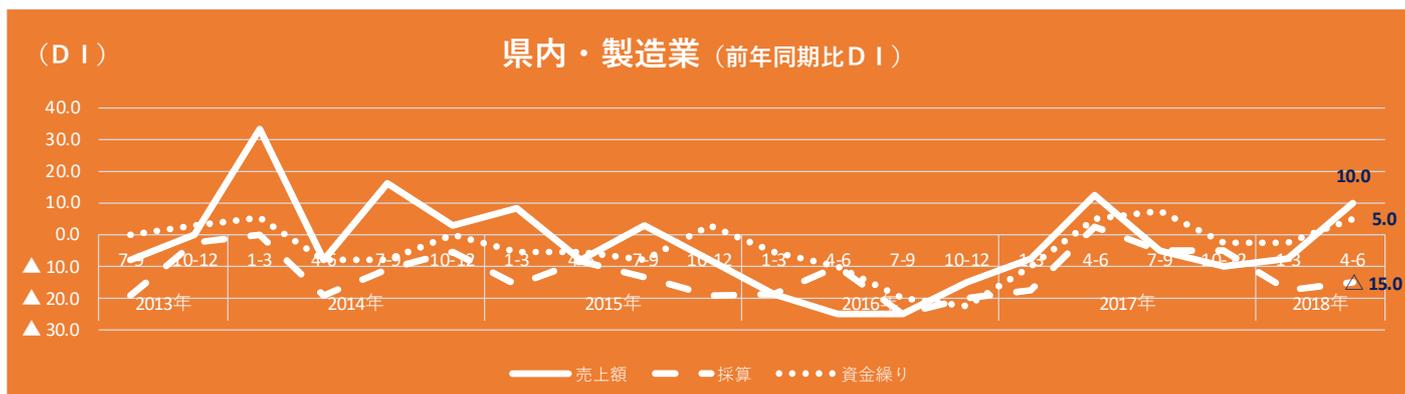


	2013年		2014年				2015年				2016年				2017年				2018年	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
売上高	△ 13.8	△ 10.1	△ 7.3	△ 19.0	△ 21.1	△ 13.4	△ 17.4	△ 9.5	△ 13.4	△ 15.5	△ 27.4	△ 31.9	△ 29.0	△ 33.5	△ 26.1	△ 16.2	△ 20.6	△ 15.8	△ 39.4	△ 23.1
採算	△ 23.6	△ 19.0	△ 17.1	△ 33.5	△ 32.9	△ 25.6	△ 21.1	△ 19.7	△ 22.7	△ 23.0	△ 30.9	△ 25.7	△ 27.7	△ 27.8	△ 25.0	△ 19.7	△ 20.9	△ 17.4	△ 36.6	△ 26.5
資金繰り	△ 10.1	△ 8.0	△ 11.8	△ 16.1	△ 15.7	△ 9.1	△ 7.9	△ 7.3	△ 10.7	△ 9.6	△ 14.8	△ 12.9	△ 15.3	△ 20.0	△ 16.8	△ 11.8	△ 9.0	△ 13.4	△ 18.3	△ 16.6

## 《製造業》

### 売上額、採算、資金繰りのすべて改善

製造業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、10.0で前期比17.5ポイント、採算D Iは、△15.0で前期比2.5ポイント、資金繰りD Iは、5.0で前期比7.5ポイントの改善となり、全てのD Iが改善しました。



	2013年		2014年				2015年				2016年				2017年				2018年	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
売上高	△ 8.1	0.0	33.3	△ 8.1	16.2	2.7	8.1	△ 8.1	2.7	△ 8.1	△ 18.9	△ 25.0	△ 25.0	△ 15.0	△ 7.5	12.5	△ 5.1	△ 10.0	△ 7.5	10.0
採算	△ 19.4	△ 2.7	0.0	△ 19.5	△ 11.1	△ 5.4	△ 16.2	△ 8.4	△ 13.5	△ 19.5	△ 18.9	△ 10.3	△ 25.0	△ 20.0	△ 17.5	2.5	△ 5.0	△ 5.2	△ 17.5	△ 15.0
資金繰り	0.0	2.8	5.4	△ 8.1	△ 8.1	0.0	△ 5.4	△ 5.4	△ 8.1	2.7	△ 5.5	△ 10.0	△ 20.0	△ 22.5	△ 10.0	5.0	7.5	△ 2.5	△ 2.5	5.0

## 《建設業》

### 完成工事額は改善、採算、資金繰りは悪化

建設業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の完成工事額D Iは、0.0で前期比5.0ポイント改善しました。採算D Iは、△15.8で前期比0.8ポイント、資金繰りD Iは、△16.6で前期比16.6ポイントの悪化となりました。



	2013年		2014年				2015年				2016年				2017年				2018年	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
完成工事額	16.0	24.0	24.0	△ 8.0	△ 12.0	12.0	△ 32.0	△ 4.0	△ 20.0	4.0	△ 8.0	△ 31.6	△ 15.0	△ 25.0	△ 5.0	△ 15.0	△ 10.5	33.3	△ 5.0	0.0
採算	8.0	4.0	8.0	△ 24.0	△ 8.0	△ 20.0	△ 24.0	△ 12.0	△ 28.0	△ 8.0	△ 24.0	△ 30.0	△ 25.0	△ 30.0	△ 20.0	20.0	△ 10.5	5.2	△ 15.0	△ 15.8
資金繰り	20.0	16.0	0.0	△ 8.0	△ 12.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 4.0	△ 5.0	5.0	△ 10.0	△ 5.0	15.0	5.3	△ 10.5	0.0	△ 16.6

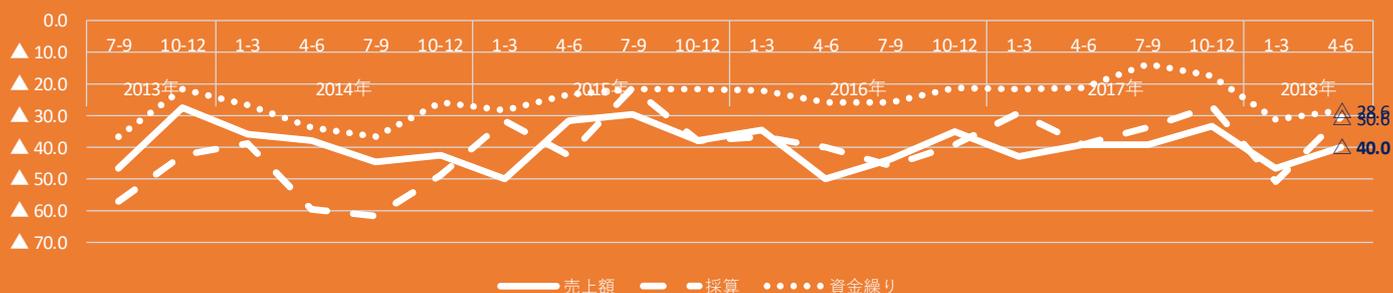
## 《小売業》

### 売上額、採算、資金繰りのすべて改善

小売業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△40.0で前期比7.0ポイント、採算D Iは、△30.6で前期比20.4ポイント、資金繰りD Iは、△28.6で前期比2.8ポイントの改善となり、全てのD Iが改善しました。

(D I)

## 県内・小売業 (前年同月比)



	2013年		2014年				2015年				2016年				2017年				2018年	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
売上高	△ 46.9	△ 27.7	△ 36.2	△ 38.3	△ 44.7	△ 42.6	△ 50.0	△ 31.9	△ 29.8	△ 38.3	△ 34.7	△ 50.0	△ 44.0	△ 35.3	△ 43.1	△ 39.2	△ 39.2	△ 33.3	△ 47.0	△ 40.0
採算	△ 57.4	△ 42.6	△ 39.1	△ 59.6	△ 61.7	△ 48.9	△ 32.0	△ 42.5	△ 21.3	△ 38.3	△ 37.0	△ 40.0	△ 46.0	△ 39.2	△ 29.4	△ 39.3	△ 34.0	△ 27.4	△ 51.0	△ 30.6
資金繰り	△ 37.0	△ 21.7	△ 26.7	△ 34.1	△ 36.9	△ 26.1	△ 28.3	△ 23.4	△ 21.7	△ 21.8	△ 22.2	△ 26.0	△ 26.0	△ 21.6	△ 22.0	△ 21.6	△ 14.0	△ 17.7	△ 31.4	△ 28.6

## 《サービス業》

## 売上額、採算、資金繰りのすべて改善

サービス業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△36.3で前期比26.0ポイント、採算D Iは、△33.4で前期比10.1ポイント、資金繰りD Iは、△20.6で前期比2.6ポイントの改善となり、全てのD Iが改善しました。

(D I)

## 県内・サービス業 (前年同月比)



	2013年		2014年				2015年				2016年				2017年				2018年	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
売上高	△ 5.6	△ 15.7	△ 20.3	△ 15.7	△ 28.2	△ 11.6	△ 4.2	2.9	△ 8.6	△ 11.2	△ 33.8	△ 23.2	△ 24.6	△ 45.6	△ 30.4	△ 16.2	△ 18.2	△ 19.1	△ 62.3	△ 36.3
採算	△ 14.3	△ 20.0	△ 20.6	△ 26.7	△ 33.8	△ 22.5	△ 15.5	△ 12.8	△ 26.7	△ 20.0	△ 35.8	△ 22.7	△ 16.5	△ 23.2	△ 27.6	△ 29.8	△ 23.5	△ 23.2	△ 43.5	△ 33.4
資金繰り	△ 8.5	△ 13.2	△ 16.1	△ 11.7	△ 7.0	△ 8.8	1.4	0.0	△ 8.8	△ 11.6	△ 18.6	△ 7.4	△ 10.4	△ 20.3	△ 20.3	△ 22.0	△ 19.1	△ 17.4	△ 23.2	△ 20.6

## 自社の業況についてのコメント（能登鹿北関係分）

業種	コメント
製造業	多忙な状況が1年以上続いており、年内は続くと思われるが、来年以降の反動が懸念され、設備投資に踏み切れない。
小売業	<p data-bbox="284 327 1487 409">高齢の顧客は、それぞれの家庭への協力や諸税の増加、今後の医療費の増加等のことを考えて物品の購買を控える面が見受けられる。</p> <p data-bbox="284 421 1487 454">季節ごとの行事や法事の簡素化により当店商品の利用機会が大幅に減少している。</p>
サービス業	天候も良くなり、外出するお客が多くなったのか、予約数が増加していると思う。今後、夏に向けて客数が増加することを期待している。
	高齢のため自営の仕事が段々困難になってきており、今までのような人数のお客を受入できない状況である。
	これから観光シーズンとしては最適になるが、冬同様、雨や台風など天候に左右されやすいので、好天が多いことを願っている。ついでに入る店ではなく、目的地になるような店舗にしたい。
	ゴールデンウィークの稼働率は良好であるが、客数が少なく、売上が減少した。平日、週末に関係なく客足が鈍い。
	施設の老朽化及び従業員の確保が最大の懸念材料である。また、後継ぎがいがないため、リフォームする決断もつかないし、家族が高齢となり働き手もいない状況である。今後は、業績が悪化しても細々と経営していくしかない。